



## <H29. 7. 1 開催講演会感想>

今回、NPO法人こども相談支援センターゆいまわる代表でNPO法人ADOC project 理事もされている作業療法士の仲間千穂先生を講師としてお招きし、「学校の作業療法～地域で働く作業療法の可能性～」をテーマとしご講演して頂きました。

同窓会で発達の分野の先生をお招きするのは初めての試みでした。今回、参加者の卒業生の皆様の中には、実際に発達の分野で働いている方から理学療法士の方まで幅広くご参加頂きました。

仲間先生の、学校の先生との関わりの中で対象の子どもを含め、周りの人を巻き込みながら自分が出来ることを見つけ、支え合っていく姿にとっても感銘を受けました。

今回は、仲間先生の地域でのご活躍の内容も含め、参加して頂いた方全員に共通し、地域や臨床に還元できる部分が多くあったのではないかと感じております。

講演にあたっての時間はあっという間の3時間ではありましたが、凝縮された有意義な時間となり、地域で働く作業療法士としての魅力をとっても強く感じさせて頂きました。このような貴重な講演をして頂いたことを心より感謝申し上げます。

学術振興としては、今年度1回目の活動でした。当日は各種対応で多々反省点はありましたが、参加して頂いた皆様には感謝申し上げます。次回の学術振興では、より円滑なものとなるよう精励していきますので、今後の学術振興もよろしく願いいたします。沢山のご参加をお待ちしております。

定山溪病院 小泉 知優 (12期 OT)

## <アンケート結果>

### 1. 本日の講演会について

#### <<本日の講演会についての感想>>

- ・面白く、楽しく勉強会に参加することが出来、もっとお話しが聞きたいと思いました。
- ・作業遂行に目を向けクライアントと向き合う事の大切さを改めて考え直すきっかけとなった。
- ・本人に対して「したいことは何か」希望を持ってアプローチされている姿に感動しました。
- ・退院支援で環境、人とのつながりが作業を提供するにあたって大事だと思いました。
- ・今後の臨床の場で疑問ばかりではなく「その人にとって意味のある作業」を見ていきたいと思いました。
- ・教育現場で行ってきた作業療法が場所を変えてもどんな企業でも状況を変える事が出来る可能性を持っていると考えられるようになった。
- ・OTの考えだけでなく支援者側の声を聴く事の大切さに気づけた。当たり前に行っていた事を1つ1つ捉えて直し、問題点の抽出を継続して変化の気付きを増やして笑顔を提供できる支援者になりたいと感じました。
- ・悪い点だけではなく良い点を多く見つけその人らしい生活を再獲得出来るよう臨床で活かしたいと思いました。
- ・発達分野にも興味を持てました。また他の分野でも活かせる事も学べOTの役割、考え方を再認識する事が出来ました。

### 2. 同窓会の運営について

- 会の進行はスムーズでしたか？  
(はい：46人 いいえ：0人 その他：5人)
- 日程、講演時間は適切でしたか？  
(はい：45人 いいえ：1人 その他：5人)

### 3. その他、お気付きの点・ご意見・ご要望が御座いましたら記載して下さい。

- ・ 開始時間をもう少し早くしてほしい。
- ・ 質問の時間を設けてほしかった。
- ・ 学生も参加できる機会がもっとほしい。

### 4. 今後の講演会について

- 今後、講演会に参加したいと思えるような、領域・内容・講師の方がありましたら記載して下さい。

【整形：8名 中枢：15名 精神：13名  
循環：4名 呼吸：4名 生活：13名  
癌：3名 その他：〔小児・発達4名〕】

### <編集後記>

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回の講演会に参加して頂いた皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。

今回は「学校の作業療法～地域で働く作業療法の可能性～」をテーマに沖縄県から仲間先生にお越し頂きご講義をして頂きました。「作業」の魅力が大いに感じる事の出来る内容であり、クライアントとの向き合う姿勢の重要性などを再度学ぶことが出来ました。

皆様のアンケートにも今後の臨床の考えやセラピストとしての一助となるなどの意見が多く、皆様実りのある講演になったのではないかと思います。

さて、今年度の講演会は今回の講演で終了となります。

次年度の講演会では来年度の7月に幾央大学 理学療法学科 教授 森岡周先生と吉備国際大学 作業療法学科 准教授 竹林崇先生のお2人にご登壇いただき講演会を開催する予定です。詳細が決まり次第 Facebook や同窓会ホームページで告知を致します。

来年度も皆様にとって有意義な講演会になるよう、努めて参りますので宜しくお願い致します。

来年度も皆様のたくさんのご参加をお待ちしています。

編集者：渡邊佳織 吉村小雪  
高田ゆう 佐々木浩嗣

